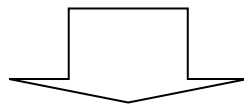


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書くことや、工夫しながら書こうとすること。</li> <li>・基礎・基本の学習を活用すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の意見やその理由」「条件に合わせた物事の説明」など、目的に応じた短文を書く活動に焦点を絞り、継続して日常的に取り組むようにする。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びを意識した単元学習を継続して実施する。特に、読みの単元においては、考えを書いたり友達と話し合ったりする場を必ず取り入れ、考え表現する時間の確保を心がける。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読み取り、正しい知識を用いて、考察したり表現したりすること。</li> <li>・地図記号、方位などの基礎的な事項を理解すること。</li> <li>・基礎・基本の学習を活用すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフ、写真、表など視覚的に分かる資料を提示し、そこから何が読み取れるかを考えさせ、資料を読み取ることができるようにする。</li> <li>・身近な話題を取り上げ、地図帳を活用して地図記号や方位を確かめる時間を確保する。</li> <li>・「問題に気付く→学習課題を作る→計画を立て、学習問題を追及する→まとめる」という学習の流れが明確にして、定着できるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な加減乗除の意味を理解すること。(筆算を含む)。</li> <li>・「数と計算」に関わる領域を理解し計算すること。</li> <li>・基礎・基本の学習理解を基に、課題について考察し、数学的な根拠を基に表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立解決の時間を確保し、計算問題に繰り返し取り組めるようにする。</li> <li>・少数のしくみや加減乗除の計算の仕方を全体で取り組み、確かめる時間を確保する。</li> <li>・自分の考えを分かりやすく表す方法として、言葉での説明、式に表す、表にする、図で表すなど多様な表現方法を提示し、習得できるようにしていく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の結果から、結論を導き出すこと。</li> <li>・根拠を示して論理的に表現すること。</li> <li>・学習したことを日常生活に結び付けて考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題→予想→実験計画→結果→考察」の問題解決の流れが明確になるように、板書やノートをまとめられるようにする。</li> <li>・自分の考えをまとめる時間を確保し、言葉だけでなく絵、表、図で表現できるようにしていく。</li> <li>・身の回りの事象を、働きや時間などと関係付けて考えることができるようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにすること。</li> <li>・協力、公正などの態度で運動に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入時に、運動の特性やルールなどの大枠の基本的な指導を行う。展開次、実際の活動で児童の主体的な発言を基にルールを変えたり、技能を向上させる方法を指導したりする流れとなるようにする。</li> <li>・準備・片付けの手順やルールの改善などで指導や話し合いが必要な際は、体育や学活の中で十分に時間を確保する。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値について、自らすすんで考えること。</li> <li>・友達と考えを交わしたり、さらに考えを深めてノートに書いたり、表現したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間ごとの教材研究を十分に確保し、児童が主体的に考えようとする発問・展開を準備する。</li> <li>・話し合う時間や全体で共有する時間、ノートなどに思いを書きとめるため、振り返りの時間を、授業の中で必ず取り入れるようにする。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、様々な資料や方法で調べ学習を進め、有効に活用すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料、新聞、インターネット、インタビューなどの基本的な利用方法や技能の指導を積極的に授業で取り扱う。(2学期はインターネット・新聞を、3学期はインタビュー活動を軸とする。)</li> </ul>

外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きな色や食べ物、持ち物など自分の身の回りの物を表す語句を、イラストや写真などを提示しながら聞き取れるようにする。ゲームや歌、チャンツを通して楽しむながら語句を習得できるようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時のねらいを明確にし、個人の学習活動を保証すると同時にペア学習を取り入れる。</li> <li>普段より音楽的な語彙を増やせるよう、児童の発言を生かした言葉や音楽表現を表す言葉の掲示物を配慮する。</li> <li>リコーダー学習を中心に、教材を作成し、ステップアップを図れるよう見とる。</li> <li>掲示物と声掛けで習慣化できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時のねらいを明確にし、個人の学習活動を保証すると同時にペア、グループでの学習を有効に取り入れる。</li> <li>音楽的要素と絡めて児童の発言を生かし、表現や自分の思いに対して自信をもてるように導く。</li> <li>身近な楽曲を使ったリコーダー教材を使用したり身体表現を生かした常時活動を取り入れたりする。</li> <li>掲示物と声掛けで習慣化できるようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な材料や場所から、自ら造形的な活動を思いつき、表したいイメージをもったり、表し方の工夫を考えたりしながら手や体全体を動かし工夫を重ねること。</li> <li>自分の表したいことを見付け、主体的に表現すること。</li> <li>身近にある作品から、造形的なよさや表し方の工夫などを感じ、自分の見方や感じ方を広げること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が活動しやすい場の設定を考える。必要に応じて図工室以外での活動も取り入れていく。</li> <li>発想の補助となるような資料やワークシートを適宜用意する。また、導入の工夫をする。</li> <li>鑑賞の際、いくつかの視点を提示し、気づきを深めることができるよう指導にあたる。</li> </ul>



成果○ と 課題▼	
国語	
社会	
算数	
理科	

体 育	
道 徳	
総 合	
外 国 語 活 動	
音 楽	
図 工	